

a-game専用のTwitterが登場
場であります！ 新着情報
や再入荷情報は、そちらから
も要チェックであります！
<https://twitter.com/agameshop>



ええゲーム 発掘隊



その15: 戦国マルチの新定番
『WGJ#9 東国争乱』

a-game shopはこちらから
<http://a-gameshop.com/>



サイマシタモ



ウォーゲーム日本史 『東国争乱』

群雄割拠の戦国時代を舞台とした多人数ゲーム。最大プレイ人数5人。1550年から1600年までの東国がマップに収められ、プレイヤーは今川、武田、上杉、北条、織田の中から自分の勢力を選んでプレイする。ゲームには季節の概念があり、軍隊の移動や兵の動員もこの影響を受ける。ユニットには兵科の概念があり、1ユニットは歩兵・騎兵が2500人、銃兵が500を表している。地図上の各エリアの石高は検地の記録などに基づいて設定されていて、俵マーク1つが約10万石を表している。なお練習や少人数プレイに適したシナリオも5本収録。

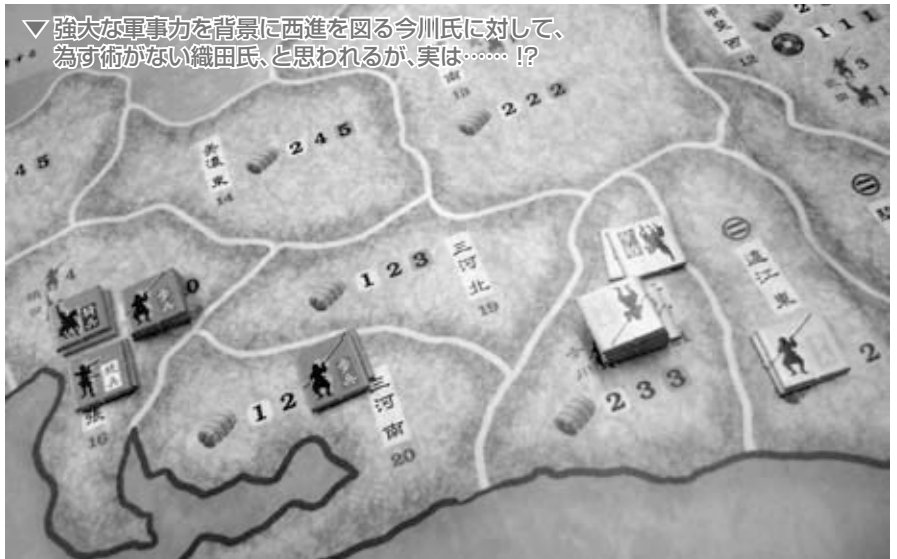
価格:2,940円(税込)
発売日:2011年3月20日
判型:A4判
ISBN:978-4-434-15435-5 C2321
●28ページ(フルカラー)
●マップ1枚(A1変形版)
●カウンターシート1枚(15mm)
●ルールブック4ページ
●大名カード5枚

関連情報



ウォーゲーム日本史第2号 新・戦国大名

往年の名作『戦国大名』を鈴木銀一郎氏の手によってリ・イマジネーション的作品。戦国時代に発生した事象やイベント、武将を競りて手に入れ自国の基盤と領土拡大を行っていく。自分の順番を天運により競る点がポイントで、どのタイミングで主導権を取るかが重要になる。前作『戦国大名』と異なり、ターンがはじめから明示されているので、プレイ時間は短く、戦略は立てやすい。



3月20日に発売されたウォーゲーム日本史『東国争乱』は特に本誌の読者にプレイして欲しい、シミュレーションゲーム向きの作品です。

本作は、戦国時代を背景にした多人数国盗りウォーゲームなのですが、今までの同テーマ作品にはちょっと見られない要素が含まれています。それは**生産マネジメント**の概念です。

戦国期の前半は山岳地ほど生産力が高く、そこを基盤とする大名が大きな力を持っていました。しかし、農地改革が進んで平地の生産力が上回るようになると、それに伴って軍事力も逆転していきました。これを再現するために本作はゲームを24ターン、前・中・後期の3期に分け、生産力に当たる「石高」が各期で変化するようにデザインされています。

キャンペーンや戦略級を好む読者なら、生産力の優劣の逆転が、戦略や局面にどのような影響を及ぼすかおぼろげに想像できると思います。各勢力は、生産力の変化を計算しながら、より豊かな土地を目指して領土拡大を図ることになるのです。

つまり地勢的に見た軍事的課題が表現されており、かつ政治判断も迫られるので、ボードゲームというよりシミュレーションゲームと呼ぶにふさわしく、この点がコマンド読者向きなゲームであると思います。

もうひとつは戦闘システム。『東国争乱』は大名同士の戦闘に関しても「三兵原則」を採用しているのです。

騎兵は歩兵に勝ち、銃兵は騎兵に勝ち、歩兵は銃兵に勝ち。

プレイヤー同士の戦闘は、異なるプレ

イヤーの軍勢が同一エリアにいると発生します。合戦は5回の「戦い」からなり、「じゃんけん」方式で行われます。お互いに駒を1つ出し見比べて勝敗を決めるのです。相手より「戦い」の勝ち数の多い陣営がそのエリアで勝利します。ユニットを出せない時は出せた側の不戦勝です。

では、6ユニット以上戦闘に持っていく必要はないのでは？ と思うかもしれませんが、実はそうではありません。ここで「予備」と「兵科」の重要性がクローズアップされます。

確かに、同じ兵科のユニットならば必ずしも6ユニット以上連れて行く必要はありませんが、いくつかの兵科を混ぜている場合、どの兵科を戦闘に出すかを悟られないために予備が必要になるのです。

またゲーム前半、歩兵しかない状況ではユニット数の多い大名が数にもものを言わせて勝利できますが、騎兵が戦闘に登場するだけで戦局は一変します。5ユニット中に1ユニットでも騎兵がいれば、10ユニットの歩兵に攻め込まれたとしても、騎兵を持つ陣営が勝利するのですから。ゆえに特殊能力で戦闘時に歩兵を騎兵に変えられる武田氏は、前半戦この能力を背景に大暴れするでしょう。

騎兵が戦場で暴れれば、その対策として銃兵が必要となりますが、どの大名も銃兵を手に入れるには「石高」だけでは越えられない壁が。

各大名に割り振られた手番順、季節毎の移動制限、特殊能力、兵科の生産バランス。このゲームはシンプルながら戦略眼と政治力を要求される奥深いシミュレーションゲームなのです。